【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-519713(P2001-519713A)
【公表日】平成13年10月23日(2001.10.23)
【出願番号】特願平10-542755
【国際特許分類第７版】
　Ｂ０１Ｄ　 3/32
　Ｂ０１Ｄ　 3/20
　Ｂ０１Ｄ　19/00
　Ｂ０１Ｊ　19/32
　Ｃ１０Ｊ　 1/08
【ＦＩ】
　Ｂ０１Ｄ　 3/32　　Ｄ
　Ｂ０１Ｄ　 3/20
　Ｂ０１Ｄ　19/00　　Ｊ
　Ｂ０１Ｊ　19/32
　Ｃ１０Ｊ　 1/08

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月14日(2004.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１６年　９月１４日

特許庁長官殿

１．　事件の表示

平成１０年特許願第５４２７５５号

２．　補正をする者

氏名（名称）　モービル・オイル・コーポレイション

３．　代理人

住所　〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見１丁目３番７号　ＩＭＰビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261　　ＦＡＸ 06-6949-0361

氏名　弁理士　(6214) 青山　葆

４．　補正対象書類名　明細書、請求の範囲、図面

５．　補正対象項目名　明細書、請求の範囲、図４

特許庁
16.9.15
出願審査課
金井

６．補正の内容

次の箇所を補正します。

Ｉ．明細書

（１）第１頁下から２行目、「充填を含む」を「充填物を含む」に訂正。

（２）第２頁第７行目、「折り重なった」を「折り目の」に訂正。

（３）第２頁下から７行目、「リバース曲線」を「反転した曲率」に訂正。

（４）第４頁下から７行目、「混合相を形成する」を「混合相流体を形成する」に訂正。

（５）第７頁第３行、「図１」を「図２」に訂正。

（６）第１０頁第３行、「流れる」を「流れようとする」に訂正。

（７）第１０頁第６行、「トレイ」を「トレイ構造」に訂正。

（８）第１０頁第７行、「かラム」を「カラム」に訂正。

II．請求の範囲

別紙の通り

III．図面

図４（ＦＩＧ．４）を別紙の通り訂正。

以上

(別　紙)

請　求　の　範　囲

1．フィード・ストリームを蒸留または分留するための分離カラムであって：

（ａ）トレイ頂部とトレイ底部とを有する複数の相互接続されたトレイと；

（ｂ）トレイに配置され、蒸気と液体とが並流接触し得る部分を有する複数の並流式の蒸気と液体との接触セクションと；

（ｃ）トレイに配置され、同伴された液体を蒸気ストリームから分離するための複数の脱同伴デバイスであって、内側および外側を有し、内側が並流式接触セクションに隣接し、内側および外側が蒸気および液体に対して透過性である、脱同伴デバイスと；

（ｄ）上部および下部を有する複数の液体ダウンカマーであって、液体ダウンカマーの上部が、第１のトレイの脱同伴デバイスの外側からの液体を受容でき、液体ダウンカマーの下部が、カラム内で第１のトレイの鉛直下方にある第２のトレイの並流式接触セクションの内部に配置される、液体ダウンカマーと；

（ｅ）並流式接触セクションの下方の位置でトレイの底部を貫通して配置された蒸気開口部であって、蒸気開口部を通って蒸気がトレイの並流式接触セクションに入り得る、蒸気開口部と

を含む分離カラム。

2．並流式接触セクションを脱同伴デバイスから分離する、複数の液体堰を更に含む、請求の範囲第１項に記載の分離カラム。

3．脱同伴デバイスが、蒸気デミスターを含む、請求の範囲第１項に記載の分離カラム。

4．液体ダウンカマーは、蒸気のフローが液体ダウンカマーを通って上昇するのを防止するための手段を更に含み、蒸気フロー防止手段が、液体ダウンカマーの下部の直近の位置に配置される、請求の範囲第１項に記載の分離カラム。

5．液体ダウンカマーのための蒸気フロー防止手段が、逆止弁または制限オリフィスからなる群から選択される、請求の範囲第４項に記載の分離カラム。

6．分離カラムを操作する方法であって：

（ａ）（ｉ）トレイ頂部とトレイ底部とを有する、複数の相互接続されたトレイと；

(ii) トレイに配置され、蒸気と液体とが並流接触し得る部分を有する、複数の並流式蒸気および液体接触セクションと；

(iii) トレイに配置された複数の脱同伴デバイスであって、内側および外側を有し、内側が並流式接触セクションに隣接する、脱同伴デバイスと；

(iv) 上部および下部を有する複数の液体ダウンカマーであって、下部がトレイの並流式接触セクションの内部に配置される、液体ダウンカマーと；

（ｖ）並流式接触セクションの下方の位置でトレイの底部を貫通して配置された蒸気開口部と

を含むカラムを提供する工程と；

（ｂ）液体を、第１の液体ダウンカマーに通して第１のトレイの並流式接触セクションに流し込む工程と；

（ｃ）蒸気を、第１のトレイの蒸気開口部に通して第１のトレイの並流式接触セクションに導き、これにより、第１のトレイの並流式接触セクションで蒸気が液体を同伴して、第１のトレイを通って上に向かって進む同伴された流体を形成する工程と；

（ｄ）同伴された流体を、第１のトレイの脱同伴デバイスに通過させ、これにより、同伴された液体の少なくとも一部分を蒸気から分離する工程と；

（ｅ）脱同伴化された液体を、第１のトレイの脱同伴デバイスから第２の液体ダウンカマーに、そして、第１のトレイの鉛直下方にある第２のトレイの並流式接触セクション内へ導く工程と；

（ｆ）脱同伴化された蒸気を、第１のトレイの脱同伴デバイスから、第１のトレイの鉛直上方にある第３のトレイの並流式接触セクションに導く工程と

を包含する、方法。

７．トレイの底部にある蒸気開口部に隣接する位置にて、トレイの並流式接触セクションに液体の溜めを形成することを更に包含する、請求の範囲第６項に記載の方法。

８．脱同伴デバイスが、蒸気が通り得る穿孔を有する壁である内側表面を有し、

同伴された流体を、脱同伴デバイスの内側表面の壁にある穿孔に通過させることを更に包含する、請求の範囲第６項に記載の方法。

９．第１のトレイ、第２のトレイ、および第３のトレイが、相互に同じ回転状態で整列されている、請求の範囲第６項に記載の方法。

１０．第１のトレイが、第２のトレイに対して水平な方向で回転される、請求の範囲第６項に記載の方法。

図４

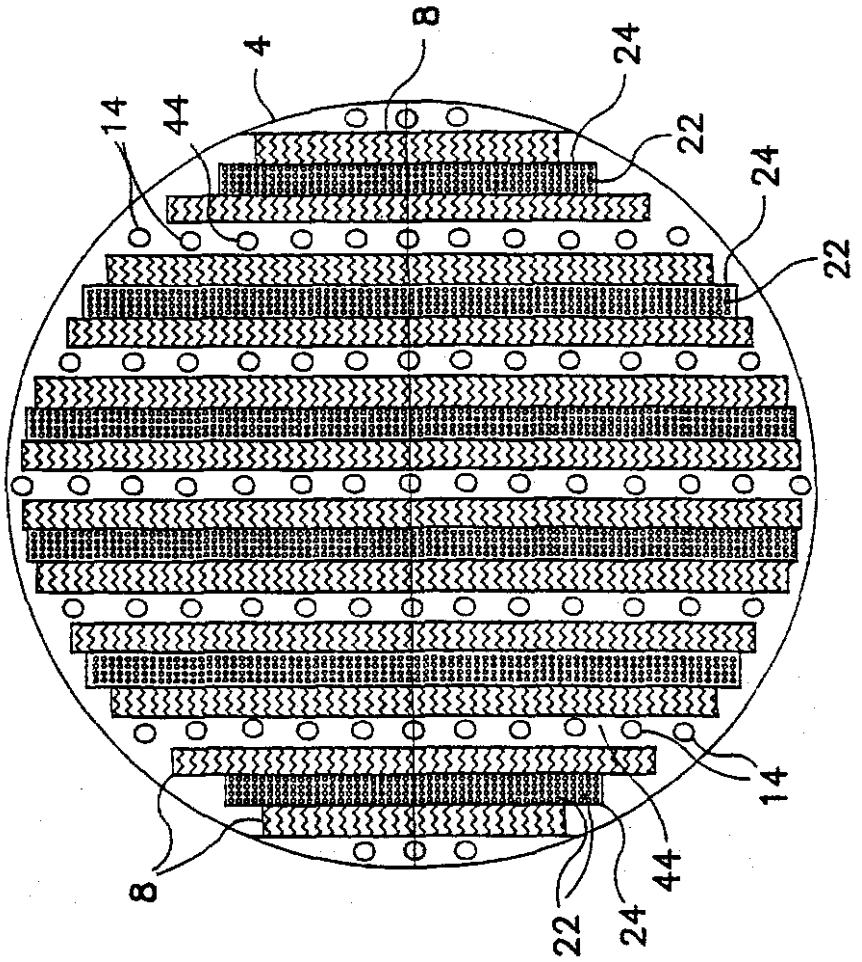


FIG. 4